

授業科目名	ことばとコミュニケーション	担当教員名	松尾 澄英
必修/選択	必修	開講学年・学期	1年 前期 (年間開講数 1講座)
科目区分	基礎科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等	外国語、体育以外の科目	授業方法/担当形態	演習 / 単独
		特記事項	
授業の概要及び全体目標	この授業では、ことばを豊かにすることで、自己をより深く認識し、他者を理解し、互いに伝え合うための「ことばによる思考・判断・表現の力」を育みます。 授業の前半では、自身が観察したり、体験したエピソードをどのように「ことばで記録する」のかを、複数の事例から学びます。実際に動画教材を用いて観察記録を行うことで、必要な観察の観点を持ち、適切な表現の工夫を用いて文章記録する力をつけます。 後半では、観察や体験を踏まえ、レポートを書く段階に必要な、意見や根拠の提示といった「論理的な文章」を書くことを学びます。 これらの根底には、「豊かな語彙力」が欠かせません。すべての活動には、他者との協働学習があり、ピアレスポンスやリフレーミングが語彙力の獲得を支えます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として適切な日本語で分かりやすく伝えたり、説明・説得したりすることができる。 ・記録やレポートの内容・構成・表現について理解し、効果的に書くことができる。 ・自己の課題を発見し、考え、意見を伝えることができる。 ・自己や他者を肯定的に捉え、協働的に学ぶことができる。 		
テキスト	毎回プリント配布		
参考書・参考資料等	授業中に随時紹介する		
成績評価の方法	授業への参加意欲・授業態度等 30% 課題・レポート 50% 定期試験（筆記試験） 20%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	自己を紹介するために、自己の人物形成過程の記録を書く 他者の人物像を聞いて、別の言葉に言いかえる(リフレーミング)		
第2回	観察記録を読む① 比較・分析（観察の観点・記述/表現の工夫）		
第3回	観察記録を読む② 比較・分析（観察の観点・記述/表現の工夫）		
第4回	観察記録を書く① 保育ドキュメンタリー動画を見て観察記録を書く		
第5回	観察記録を書く② 観察記録を推敲する		
第6回	観察記録を話し合う 保育フォーラム 発表と話し合い		
第7回	意見レポートを読む① 保育に関する意見レポートを読み、構成を捉える		
第8回	意見レポートを読む② 保育に関する意見レポートを読み、叙述の工夫を捉える		
第9回	意見レポートを書く① 現状を把握し、トピックを考えてグループで共有する		
第10回	意見レポートを書く② 主張・根拠・アウトラインを考える		
第11回	意見レポートを書く③ 序論・本論・結論に構成し、書き上げる		
第12回	意見レポートを書く④ ピアレスポンス、推敲を行う		
第13回	リフレーミング集を作ろう① 保育で用いる様々な「ことばの言い換え」を考える		
第14回	リフレーミング集を作ろう② 保育で用いる様々な「ことばの言い換え辞書」を作る		
第15回	レポート返却と授業のまとめ		
定期試験	筆記試験		